



教育学部 4回生  
こいずみ ちさと  
小泉 知里



休日のピクニック(左)

## 留学で得たもの

### 留学の目標

留学するにあたって、出発する前に私は3つの目標を掲げた。英語力を伸ばすこと、視野を広げること、自律することだ。

私はずっと英語が好きで、英語を常に使う環境に身を置き、英語をツールとして使えるようになりたかった。また、国際交流、異文化理解に興味があり、大学へ入学した頃から留学したいと思っていた。また、異文化に長期間身を置き、ものの見方を広めるとともに、日本よりも困難だと言われる授業にチャレンジし、納得いくまで勉強したいという思いもあった。



インターナショナルフェスティバルにて(後列右から3番目)

一年留学することで、卒業が遅れてしまうというデメリットがあったが、何事も経験したほうが、しないよりも絶対に良いと考え、交換留学をすることを決めた。

### 授業の大変さ

私が留学したのは、アメリカ、ミシガン州にあるフェリス州立大学というところだ。比較的小さな大学で、かなりの田舎にあり、周りに本当に何も無いことに驚いた。

アメリカの大学はハードだと聞いていたが、本当にその通りだと実感した。授業中には積極的な発言を求められ、毎回大量のリーディングが課され、テストが semester 中に何回もあった。ほかにも、エッセイを何枚も書き、プレゼンテーション

をしなければならなかった。終わらない!と嘆き、朝までテストの勉強をしたり、エッセイを仕上げたりすることもたびたびあった。それに加えて、英語という言語の違いのために、現地の学生よりも時間がとてもかかった。講義を毎回録音し、部屋に帰って聴き返し、ノートを整理し、分からないところは積極的に質問をするようにした。



キャンパス内

### 様々な人との出会いと進歩

留学中には様々な人との出会いがあった。最初は、コミュニケーションの面でも困難が多く、英語が聴き取れない、英語が出てこないという悩みをいつも抱えていたが、様々な場所に出かけ、いろいろな人と交流をするように心がけた。

大学には、いろいろな国から留学生が来ており、文化の違いを超えて、様々なことを話したり、意見を言い合ったりした。そこで感じたことは、文化の違いはあれど、最終的には人と人とのコミュニケーションに行き着くということだ。私はこれまで、国際交流に興味があり、アメリカを含め、いろいろな国の人とコミュニケーションを深めたかった。しかし、実際、文化の違いというものが予想以上に大きく、何気ない一言に傷ついたり、日本のやり方が通用しないことで、相手に苛立ちを覚えたりした。しかし、たくさんの言葉をかわし、時間が経つことで、しだいに違いも受け入れられるようになり、また、英語を使う際も気負わずにいられるようになった。

### 留学を振り返って

この留学で、私は最高に苦しいことと、最高に楽しいこと両方を体験することができた。いろいろなことがありすぎて、この留学が私にとってどのようなものであったか、まだ言葉で表すことは難しい。しかし、振り返ってみると私が留学する前に掲げた目標は、ある程度達成することができたかと思う。必死に教科書を読み、たくさんの英語に触れたことから、少し、英語に対し、自信が持てるようになった。真剣に人と向き合い、いろいろなものの見方を知った。困難の中、自分で物事を考え、解決する力がついた。私を成長させてくれたこの留学、してよかったと心から思う。

最後になりましたが、留学を決意し、無事終わることができたのは、両親、先生方、友人、国際センターの方、その他たくさんの方々支えてくださったおかげです。本当にありがとうございました。



多様性とは?アメリカ人学生とイベントにて(右)